第 2014-07 号

# 恵みと真理のニュース



2014年2月の三次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / 2382-31-443-3731 / www.gntc.net

### 「証」

#### 疲れている者に 御言葉で能力をくださり

#### 無能な者に力をくださる神様を賛美します。

私は 1981 年結婚して二人の息子を産み育てながら生きてきました。婚家と実家も仏教でしたのでイエス様を知らなくて体と心が疲れていたある日でした。

新婚の頃、隣り家に住んで友達のような仲良い方が遊びに来て私を見ながら"体の具合が悪い?"と聞きました。

"何の理由もなくあちこち全体が痛くて疲れる。"と言い様々な話をする途中その方が"そうすると私達ー緒に教会に行ってみよう。"と言いました。

教会に通う周りと人々の話をしながら私も教会に通う と体が健康になり心も平安なると思い共に教会に行く ことを決心しました。

1990年6月に生まれて初めて教会に行って礼拝を捧げましたが説教の内容が良く理解できなかったですが驚くことは体と心が平安になることを感じました。多くの人々が集まって真に礼拝を捧げる姿を見て私もイエス様を知り切なく会いたくなりました。

主日はもとより平日にも休まず全ての礼拝に参加して 熱心に説教を聴きました。そしてイエス様を私の救い 主と受け入れ魂が生まれ変わる恵みを受け

礼拝中心の生活をしながら時間が経って区域長の職分も受けました。女性奉仕連合会と聖歌隊でも奉仕しました。しかし、ある日から奉仕することや仕える喜びか冷め始め体も心も疲れていきました。するとすぐ家庭の経済的で大きい試練が来ました。生活費を加えるため私も働こうと思ってあちこち仕事を探しました。どころが、その日も外で仕事を探してうちに帰って来ましたが急に手と足に力がなく何もできないくらい全身が重くなり立つことも大変でした。

そのときに"あ、神様は私を今とがめている。これは神様の御心ではない。"と思いました。

次の日に教会に行って神様に今まで主の事におろそかったことを悔い改め許しを求める祈りをしました。これからは "何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。" (マタイの福音書 6:33) 御言葉に従順して、区域長の職務に最善を尽くしながら神様の栄光のため生きることを念を押しました。以前よりもっと礼拝中心の生活をし奉仕をする事に熱心したら私の力では勝てない患乱と迫害が来ました。それでも神様の御言葉を強く信じてただ神様だけを望みながら祈りで耐え忍びました。

聖霊様は神霊な慰めと主の平安で私を守ってください ました。恐れが来ると

"恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け/わたしの救いの右の手であなたを支える。" (イザヤ41:10)を御言葉を悩みと苦しむと"どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。(ピリピ人への手紙 4:6)御言葉も持って真実な神様を助けを求めながら祈りました。

今まで主を信じ委ねながら奉仕も自分なりに頑張っていると思いましたが神様の恵みに対する感謝より恨み不平で主の事をするときが多かった事を悟り悔い改めました。私の人間的な我執と貪欲な心を主の十字架に突ける事を祈り従順し忠誠することを願い私の否定的な性格が肯定的に変わり環境も変わり家庭も変わっていきました。信仰と希望の中で全ての事件と私物を肯定的に見て希望的に考えるようになりました。私を選んで呼び、暗闇から光で導いてくださり、サタンの子供から神様の子になるようにしてくださった神様の恵

みと愛を考えると今の苦しむ事は軽い患乱だと言える ようになりました。

万事が益となるように共に働くということを考えなが ら苦難の中でも明るくて喜ぶ心を持ち感謝と賛美を捧 げることができました。

天国の命の本に私の名前が記録する事を思うとそれだけでも感謝し世の苦難も耐え忍んで勝つことができました。

主の中で生きながら礼拝を捧げ奉仕することができて 限りなく感謝をしました。毎日礼拝の時間を待ち遠し くなり礼拝に参席して当会長牧師を通して主がくださ る神様の御言葉は蜂蜜より甘いです。また、私の周り の全ての聖徒達が皆美しくてきれいに見えました。愛 する旦那と子供がいることも神様に感謝しました。神 様は私に来た迫害と苦難を通して私の信仰を強めてく ださり私の心の中を強く健康にしてくださいました。 そして尊い首区域長の職分をくださりそれを通して教 会と聖徒を仕え福音を伝えながら世にはけして得られ ない神霊な喜びと満足を与えながら生きるようにして くださいました。熱心に主の事に力を入れる生活をす るとどんどん経済的に生活が良くなり子供たちが主の 中で正しく健康に育ち、旦那も聖霊に満たした生活を するようになりました。神様は患乱を福になり苦難が 栄光になるようにしてくださいました。

今日も私はまず賛美歌 7 章を歌って聖書を読み祈りした後、主がくださった熱情で外に出て喜んで感謝する心で人々に大胆に福音を伝えています。 "神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。" (ローマ書 8:28)ハレルヤ! 時ことに御言葉と聖霊で慰めと力を与えて祈りに答える神様を賛美します。



#### [信仰コラム]

#### ストレスを克服する秘訣

"…私がその2人の間に挟まれたから離れてキリストと一緒にある欲望を持ったこれがもっといいが、しかし、私が体に拒否するのが君をため、より有益だ"(ビル1:20~24)

世界保健機関が 2010 年に発表した世界各国の 10 万人当たり自殺統計によると、韓国が 2 番目でした。経済協力開発機構 OECD 加盟国の中で韓国が一番高いです。人が死にたいという思いをする根本は人生に疲れたからです。人生を疲れさせる理由はたくさんあります。病苦、老いと寂しさ、また人間関係 のせいて生活苦が深刻なストレスを与えています。それでこれ以上生きたくないと思うようになります。しかし、生きたくないという思うが皆自殺の衝動を意味することはありません。"これだけ生きて、今は神様が天国へ連れていってもらいたい。"と考える信者がいます。そして、旧約聖書に見ると神様に今連れて行ってくれることを求めた預言者があります。彼らの中でモーセとエリヤとヨナがいました。(ミン11:13~15)(列王記上 19:4)(ヨナ 4:3)しかし、神様が彼

らの要求を受け入れませんでした。

モーセに関する事件が記録で私たちが学ぶことがあります。生きたくないくらいたまったストレスを解消するために方法を教えてほしいと神様に求めなければならないということです。

また、 私たちはエリヤと関する事件の記録で学ぶべき教 訓の内容は神様を意志して、最後まで大胆な行動しなければならないです。神様は私たちの弱さを哀れに思って 手伝ってくれというのです。

ヨナに関する記録で私たちが願うことより神様が求めるとおりしなければならないです。そうすれば自分が期待にこたえなくてもストレスを受けなくなるということです。モーセやエリヤやヨナが死ぬのを願ったのは自己中心で考えたからです。すべての事に最善を尽くして神様に結果は預けなければなりません。神様の考えどおりなったのが一番いい結果として自分にもいいことだということを信じなければなりません。

本文に使徒パウロが自身が死ぬことを願う心もあると言いました。ストレスのせいて言った話しではありませんでした。天国で神様と一緒にある欲望のせいでした。

しかし、キリストを尊貴にするので生きたり死ぬたりそれは関係なくて全部好きだと言いました。"私の切な願いと希望について何も恥ずかしい限り、ただ以前と同じように大胆て生きるなり、死ぬなり、私の体でキリストが尊貴にするようにしようとしてこれは私に生きることがキリストたら死ぬのも有益なことだが、もし体に生きているのが私の事の実であるなら何を隠しか僕は知らなかっと私がそのふたりの間に挟まれたから離れてキリストと一緒にある欲望を持ったこれがもっといいが、しかし、私が体に拒否するのが君をため、より有益だと"(ビル1:20-24)

皆さんは"完全に大胆、望むものは、生きるなり、死ぬなり、私の体でキリストが尊貴になされるのです。"という心持として生きていけることでどのようなストレスでも十分に克服することになって下さい。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム '緑の牧場、清い川'本の語り中」



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

この時間には本当の神様、本当のキリスト教に関してよく見ようと思います. 同時に偽りされた神と似以非キリスト教に対してもよく見ます.

#### 第一は、偽りされた神と本当の神様に関 してよく見ます.

ある時代にも人々は罪の問題と死後世界の問題に対する解決策を模索して来ました。を思いた。の問題の答は神さまにあるができました。ことがの位の問題解決に近付ないいできまいがの位の問題解決に近付ないいです。の世界では問題解決にがあることが人間の表になっていた。では、ガラテヤ人への手紙 4:8)とあることが人間の実際です

アンデーオック教会から宣教師に派遣された使 徒パウロがアテネに行って福音を伝えたらエピ キュロス学派とストア学派の哲人たちがパウロ と論争しました、パウロと弁論した人々はパウ 口がイエス様と身の復活に対して言うことを聞 いて強い好奇心を持つようになりました. 彼ら はパウロが伝える新しい宗教に対して聞いて見 る事にしてパウロを野外の集会場所であるアレ オバゴスに連れて行きました. パウロは沈着で カが強く言いました. **"そこでパウロは、アレ** オパゴスの評議所のまん中に立って言った。 「アテネの人たちよ、あなたがたは、あらゆる 点において、すこぶる宗教心に富んでおられる と、わたしは見ている。実は、わたしが道を通 りながら、あなたがたの拝むいろいろなものを、 よく見ているうちに、『知られない神に』と刻 まれた祭壇もあるのに気がついた。そこで、あ なたがたが知らずに拝んでいるものを、いま知 らせてあげよう。"(使徒行伝 17:22,23)で始 まりました. パウロは引き継いで言うのを "この世界と、その中にある万物とを造った神 は、天地の主であるのだから、手で造った宮な どにはお住みにならない。また、何か不足でも しておるかのように、人の手によって仕えられ る必要もない。神は、すべての人々に命と息と 万物とを与え、"(使徒行伝 17:24,25) しま

## 本当の神様、本当のキリスト教

そして続いて言うのを "われわれは神のうち に生き、動き、存在しているからである。『わたちも言ったようにのある詩人たちも言ったように、『おれたちも言ったようにのようにであるからこのはなかにその子孫であるから石なはない。" われわれは神の子孫なのであるか石なはない。 から石なはないであるか行けたものと同じと、見なすべきではないですけたものと同じと、見いました。 (使徒行伝 17:28,29) しました。万物人し何もいです。だから創造の外主は一人の神様のがです。前造の外主の神様のがです。対象です。対象ではないです。被造物を崇拜する対象は皆偶像でです。被造物を崇拜する対象は皆偶像ででも、という本質が変わらないです。

人の研究ではまことの神様が分かることができ ないです、神様が自分を現わしてくれなければ ならないです.神様が自分を知らせることを啓 示と言います、人間は神様の啓示に寄り掛から なくては神様が分かるのが全然ないです.神様 が作られた万物を通じて自分を啓示なさいまし た. しかしそれだけでは完全に分かることがで きないので聖書を通じて神様自分を完全に知ら せました. 聖書にはイエスキリストを通じて罪 人を救援する神様が啓示されています.聖書を 通じて救世主が知って信じる前までは誰も本当 の神様が分からないです. 本質上の神様ではな いにせ神を仕えながら暮すようになります. 強 い宗教心や宗教を信奉するのが死後の生の問題 と罪の問題に対する解決に役に立たないという ことを認めない人は迷妄の中から抜けて来るこ とができないです.イエスキリストを信じて本 当の神様を仕える生活は特別です、これを他の 宗教たちのように宗教のわくの中に含ませるの が事実は適切ではないです. イエスキリストは 父の神様位に行くただ一つだけである道だから です.罪の赦しを受けて永生を得る唯一の道で す. ヨハネによる福音書, 17 章 3 節に "永 遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあな たと、また、あなたがつかわされたイエス・キ **リストとを知ることであります。"**と言いまし た.だから福音を聞いてイエスキリストを迎接 して本当の神様を仕えることは人が一生に経験 することの中に最大の事件で一番恵まれた事で

## 二番目は、似以非キリスト教と本当のキリスト教に関してよく見ます.

キリスト教は聖書に基盤しています.聖書に対 する観念が間違えば彼の信仰は正しい道から脱 するようになります. 聖書は神様が啓示なさっ た言葉がそのまま記録された本です.聖書を記 録した予言者たちと使徒たちは聖霊の感動する ことを受けて記録しました. "聖書は、すべて 神の霊感を受けて書かれたものであって、人を 教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益であ る。" (テモテへの第二の手紙 3:16)と言いま した. "なぜなら、預言は決して人間の意志か ら出たものではなく、人々が聖霊に感じ、神に よって語ったものだからである。"(ペテロの 第二の手紙 1:21) しました. ここで '予言' という言葉は聖書を意味します. "また、もし この預言の書の言葉をとり除く者があれば、神 はその人の受くべき分を、この書に書かれてい るいのちの木と聖なる都から、とり除かれる。" (ヨハネの黙示録 22:19)と言いました. 聖書 を自分の趣向どおり添削するのがいくら大きい 犯罪でいくら恐ろしい刑罰をもたらすようにす ることなのかを明白に宣布しています.

多くのユダヤ人たちが救いを得ることができな くなったわけは彼らに聖書がなくてできた事で はなく聖書の言葉を自分たちが願いとおりに解 釈してそこに合わせて暮したからです. ところ でこんな事はユダヤ人たちに限ったのではない です. 今日いわゆるキリスチャンだと言う 人々とはなはだしくは教会のリーダーと言う 人々の中にもこんな人々がいます. テレビプロ グラムであった事ですが、ある聖職者がキリス ト教の排他性に対する質問に対して答えるのを "何の宗教を信じようが人間としてまことらし く暮す人は神様がすべて救援してくださる. " と言いました. "イエス様を迎接しない他の宗 教人たちも天国に入ることができるのか?"と いう要旨の質問に対してどんな牧師は答えるの を "ただ神様だけが人の心を見抜いて見られ ます.それで私はよく分からないです.ただこ の問題についてこれは正しいこれはないと断定 することができないです. 聖書の教えることと イエスキリストを信じるだけです. そして他 人にあなたは天国に行けないとかとあらゆるも のを言うことは間違ったと思います. そうする ことは私の方式ではないです."と言いました. ある牧師が主張するのを "天国へ行く道はイ エスキリストを信じる道だけです。キリスト教 の信仰と聖書の言葉はただイエスキリストを信 じるだけが天国に行くことができると証拠しま す."と言うと他人が言うのを "しかし私は それに絶対に反対します."と言いました. イエスキリストの贖いがなくても救いを得る道 があると言う人は寛大な人ではなく怪悪した人 です、第一、イエスキリストを世の中に送って 十字架で苦難されるようになさった父の神様の 愛をぼうとくする行為です. 第二, イエスキリ ストが天の寶座を離れて人生でいらっしゃって 苦難を受けて十字架に釘つけられた事が不必要 で無駄な事をなさったことに捐下する行為です. 第三、"「わたしは道であり、真理であり、命 である。だれでもわたしによらないでは、父の **みもとに行くことはできない。** とおっしゃ ったイエス様をうそつき者に見なす行為です. 第四, "この人による以外に救はない。わたし たちを救いうる名は、これを別にしては、天下 のだれにも与えられていないからである」。" と叫んだ使徒たちを虚荒された言葉を流布した 者に規定する行為です.五番目、福音を伝える 途中に殉教する殉教者たちの死をむなしい死で 侮辱する行為です. 聖書のどおり言わないで自 分の方式のどおり言う人はキリストのしもべで はないです.神様の審判と地獄の刑罰に対する 聖書の言葉に反対すれば審判と地獄の刑罰を兔 れることができるのではないです. "私は聖書 のこんな句節が嫌いでそれは信じるのを拒否す る."と言ってその言葉の絶対的な権威が喪失 されるのではないです. 聖書は人の著作物では ないです、絶対主権者である神様の意志を啓示 したのです.自分の個性と趣向に当たるキリス ト教を作ればそれは似以非キリスト教です. そ んな教理はいくら熱心に信じて伝えても救いを 得ることができないです.

聖徒の皆さんはにせ神を見捨ててイエスキリストにあって本当の神様を仕えるようになったことともっぱら聖書のどおり信じて聖書のどおり福音を伝えることを大きい喜びと幸せで思うように願いします.